

# トリートメントコーディネーターと私

平成28年8月10日

医療法人祐歯会 イルカ歯科医院

前田 恵子

私は、生まれてから今まで3軒くらいの歯科医院へ行き治療をうけてきましたが、思い返せば何の説明もなく銀歯が入っていましたし、誰もが見て分かるくらい前歯が叢生であるにも関わらず、矯正を薦められたことは一度もありませんでした。

日本では、予防を目的に歯科医院に通院する人はまだまだわずかであり、私自身も歯科医院で働くまでは、痛みが出たり、詰め物が外れたりなど何か症状が出てからではないと歯医者に行かない患者の一人だったので、治療が終わり定期健診のハガキが届いても、今は痛くないし何ともないから歯医者には行かなくていいやとも思っていました。

そんな私でしたが、9年前今の歯科医院で歯科助手として働くことになり、歯科について全く無知だったにもかかわらず、いきなり臨床現場に入り一から歯について学び始めました。

初めは、虫歯は“カリエス”、歯周病は“ペリオ”と呼ぶ初歩の初歩から、バキュームの持ち方やライトの当て方、歯に番号があることやポケットの深さについてまで院長や先輩方が優しく熱心に教えてくれました。知らなかったことを覚え“歯”の知識が増えるにつれ、『もっと色々勉強したい！患者さんから質問があったら私自身がこたえられるようになりたい！！』と思うようになりました。

ひどい痛みで来院される患者さんが、ほんの数回の通院で噛めるようになった喜びで笑顔になったり、今まで怖くて歯医者に行きたくても行けなかった歯科恐怖症の患者さんが、この医院なら安心して治療を任せられるからとおっしゃって勇気を出して通院して下さったり、小さいお子さんが頑張ってお口を開けている姿や乳歯が永久歯に生え変わって喜んだりする姿を日々近くで体感し、診療の合間での患者さんとの雑談も全てが楽しく、感動と発見の毎日で、私は歯科医院での仕事が大好きになったのです。

そんな毎日のなかで、小さい頃から嫌いだった銀歯の入った前歯部叢生の自分の口腔内に目を向けたとき、こんな最新の治療法があって大人になっても歯並びが治せるんだということに気が付いた私は、実際にメタルからセラミックに変え、矯正もしたことで家族や友人、患者さんからもよく『あなたの歯並びとってもキレイね』と褒められる素晴らしい体験をすることもできました。

歯科の技術によってコンプレックスがチャームポイントに変わったのです。そして、せっかく得たきれいな口腔内をこのままずっと保っていたいと思うようになりました。何か症状が出てから歯科医院へ行くのではなく、悪くなる前に早期発見、虫歯や歯周病にならないためのメンテナンスなどの予防が非常に重要であるという考えに変化してきました。そして、歯科医院で働くことがなければ一生自分の歯の価値に気付かず、将来は何も知らずに入れ歯になっていたかもしれない。そう思うと本当に怖い反面、口腔内を改善することでもっと素晴らしい人生を送ることができる患者さんがたくさんいるのではということにも気が付いたのです。

私はたまたま歯科医院で働くことになり、自分の歯の大切さに気付きましたが、ごく普通の患者さんだったら、昔の私のように何か症状が出たら治療をして定期健診には行かず、また治療を繰り返すという方が残念ながらほとんどです。

それは、自分の口腔内で何が起きているのか、何が原因で症状が出ているのか、このまま放置するとどんなに大変なことになるのかを教えてもらえず一方的にされるがままに治療をされてきたからだと思います。

あるいは、本当はこうしたいのに、ここが気になっているのにと心の中で思っていることがあっても実際には言えないという患者さんも大勢いらっしゃるのかもしれませんが。

『そんな方々の手助けになりたい。ご自分の口腔内のことをよりよく知っていただき、一緒にお口の健康を考えたい。私が感動したことを多くの患者さんに伝えたい』と思うようになりました。

しかし、TCを目指すまでの私は患者さんに口腔内の現状を説明する術もなく、忙しさを理由にただ淡々と毎日を過ごし、毎朝来て診療が終わるのを繰り返していました。助手としての経験を重ねるにつれ、いつしか働き始めた時の感動を忘れ、頼りにしていた先輩方が退職したこともあり、自分の立場や責任の重さに悩みプレッシャーに押し潰されそうになっていました。それでも今の状況をどうにかして打開したいと思っていた時に、幸運にも今回TC養成スクールのお話を院長に頂き、迷いながらもどこか期待を抱きつつ、受講させていただくことになりました。

今回、TC養成スクールを受講して、TCとしてすでにご活躍されている鈴木先生をはじめとする先輩方の姿勢を実際に近くで目の当たりにし、知識の豊富さだけでなく、その情熱や患者様に対する惜しみない愛情、自己犠牲の精神に触れ、私の思いなどまだまだ足元におよばないと思い知らされました。それと同時に私の中で、歯科医院で働き始めた時の感動や喜びが蘇り、患者さんのお気持ちにこたえたい。先輩方のような自分の仕事に誇りを持ち生き生きとした表情で楽しんで仕事をする女性になり、自分がどこまでやれるか試してみたいという目標も生まれました。スクールに通い始め、自分でも驚くほど気持ちが前向きになり、以前よりも患者さんとカウンセリングを通して向き合う中で、たくさんの嬉しいお言葉を頂きました。『今までこんな詳しく説明をうけたことはなかった』『もっと早く来れば良かった』『こんなに自分のお口だけについて考えたことなんてなかった』『こんな治療もあって、治療って選べるんだね』『自分のお口の中がこういう状況だったなんて教えてもらわなければ知らないままだった』『すごく分かりやすかった。ありがとう』『せっかく治療したから、今度は予防の為に絶対また来るよ』など、スクール1回目よりも2回目、3回目と回が進むにつれこのような嬉しいお声をいただくことが増え、それが確かな手応えとして強く感じられ、私のモチベーションをますます掻き立ててくれたのです。何よりも、私自身が患者さんとお話しすることがすごく楽しいです。

私が今回スクールを受講し前向きな姿勢に変わったことで、共に働くスタッフ達が、まだ未熟な私をTCとして認め、どんな時も信じ、支えてくれるようになりました。私一人では何も出来ませんでしたが、私の思いにスタッフ一人一人が賛同し、協力してくれたおかげでチームワークがより深まったと思います。そんな心の支えであったスタッフ達の見本となるように、また私の姿を見てTCを目指す人が増えるように、TCとしても一人の人間としても日々成長し続けていくことが、今も、これからも私に課せられた使命だと思います。

また、TCを目指すまでは医院の経営についてなど考えたこともありませんでしたが、TCに必要な4つの柱（・臨床・リピート（予防）・心理学・経営）の中には経営という概念がありました。カウンセリングというシステムが始まったばかりの私の医院において、私がTCとしての役割を果たすことで、院長を始め先生方技術者は治療に専念することができ、医院のブランド力でもあるその素晴らしい高度な医療技術を一人でも多くの患者さんに受けていただけるようになります。たとえ長崎でも東京と同様の最新の医療技術を提供し、ファン患者さんがますます増え地域に根付いていくことが私の理想であります。その大きな一歩を踏み出す一員にTCとして携われることに誇りを持ち患者さんからはもちろんですが、医院で働くドクターやスタッフから最も信頼されるTCでありたいと思います。

もうひとつ私には使命があります。それは患者さんにとって、本当の意味で治療に満足していただき、生きている限り自分の歯で何でも好きなものを美味しくお食事する喜びを知っていただくことです。

今、なお増え続けている歯科医院の中でたった一つ私が勤める歯科医院を選び来てくださった患者さんに、辛い思いや悲しい思いをさせたくありません。それは歯科助手として働き始めた当初から変わらず持ち続けている私の願いでもあります。

8年間歯科医院で勤める中で、歯で苦勞されてきた患者さんをたくさん見てきました。中には、今までの辛い経験を思い出し、お話し中に涙を流す患者さんもいらっしゃいました。たった8年間ですが、それでもたくさんの患者さんと接してきた中で患者さんの様々な一喜一憂を共有してきました。そんな私だからこそ出来るのがTCという仕事だと思います。

この歯科医院に来たのは偶然かもしれないけれど、それは偶然ではなく運命と感ぜられるように、誠意を持ち常に心を透明に、患者さんと向き合う。これは、私だけでなく日本の歯科医療におけるTCの役割ではないでしょうか。

私の8年間の経験でおぼろげながらに知り得た知識、すなわち一本一本の歯に貴重な価値があること、その大切な歯は自分で守れること、たとえ、歯を失ったとしても諦めずに

治療によって嚙めるようになること、日本には素晴らしい医療技術があること、様々な人のスタイルに合った治療法があることなどを、スクールでは確かな知識、経験として構築することができたと思っています。受講して学んだことを駆使し、患者さんの望むことや年齢層、性別、生活背景や治療後の人生、QOLを視野に入れ向き合い寄り添い続けていきたいです。

欧米に比べると、予防目的の受診率があまりにも低い日本の歯科。今後の日本の歯科医療の課題である予防歯科においても、TCの果たす役割は大きく、今後ますます必要とされるはずです。間違いなく歯科業界を盛り上げていく存在になりうると思います。それだけ、生涯をかけてこの仕事に携わっていく価値があると私は確信しています。

かつての私がそうであったように、歯科の知識について無関心な患者さんがほとんどですが、私の一言がほんの少しでも救いになるよう、今後も日々精進してまいりたいと思います。

以上4034字